

## プログラム

日 時 令和3年12月5日(日)

13:00～16:15

12:00～13:00 会場受付  
入場無料・Webライブ配信

13:00～13:15 開会

開会あいさつ 岡山済生会総合病院長 塩出 純二

理事長あいさつ 社会福祉法人 済生会理事長 炭谷 茂

13:15～14:05 基調講演(オンライン講演)

「8050問題 ～豊中市社会福祉協議会の実践から～」

豊中市社会福祉協議会福祉推進室長 勝部 麗子氏

14:05～14:20 岡山県済生会の地域支援活動(動画)

14:20～14:30 休憩

14:30～16:10 シンポジウム

### ■コーディネーター

新見公立大学健康科学部教授 山本 浩史氏

### ■シンポジスト

岡山県精神保健福祉センター所長 野口 正行氏

岡山市社会福祉協議会  
寄り添いサポート担当室長 松原 智一氏

NPO法人岡山・ホームレス支援きずな理事 新名 雅樹氏

岡山済生会ライフケアセンター総括事務部長 森本 尚俊氏

豊中市社会福祉協議会福祉推進室長 オンライン参加 勝部 麗子氏

15:35～16:10 ディスカッション

16:10～16:15 閉会

閉会あいさつ 岡山県済生会支部長 岩本 一壽

## 会場へのアクセス



電車 | JR岡山駅中央改札口から徒歩約3分

車 | 岡山空港から約30分 / 岡山I.Cから約20分  
◎専用駐車場はございません。

飛行機 | 岡山空港より岡山駅行きリムジンバスで約40分  
(ノンストップ約30分)



お申込み・お問い合わせ



社会福祉法人 済生会 済生会支部 岡山県済生会

岡山済生会ライフケアセンター  
総括事務部

Tel. 086-252-2222

Fax. 086-252-2281

Mail okasai@vesta.ocn.ne.jp

◎所属・氏名、連絡先、参加方法(会場・Web)

Web参加の場合はMailアドレスをご記入ください。



お申し込みフォームURL  
<https://forms.gle/arYAGh7oHsQR5wYH6>



社会福祉法人  
恩賜財団 済生会



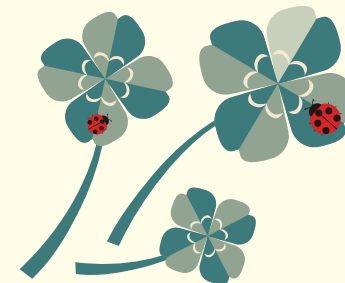
Web  
ライブ配信

[ハイブリッド方式]

第9回 済生会生活困窮者問題シンポジウム

# 8050問題を考える

コロナ禍での社会的孤立と  
貧困にどう向き合うべきか



日 時 : 令和3年12月5日

13:00～16:15

場 所 : 岡山県医師会館  
(三木記念ホール)

岡山市北区駅元町19-2  
(岡山駅西口から徒歩3分)

入場  
無料

主催 : 社会福祉法人 済生会支部 岡山県済生会

後援 : 岡山県、岡山市、岡山県医師会、岡山市医師会、  
岡山県病院協会、岡山県社会福祉協議会、  
岡山市社会福祉協議会、山陽新聞社

## テーマと目的

### 「8050 問題を考える」

#### コロナ禍での社会的孤立と貧困にどう向き合うべきか

生活困窮者には様々な要因が背景にある。8050 問題など社会的孤立から生じる貧困に焦点を当て、各分野で地域活動をされている方々のお話を聞き、社会としてどう向き合うべきかを考える機会としたい。

## ごあいさつ

社会福祉法人 済生会理事長 **炭谷 茂**

済生会では、生活困窮者への支援、地域医療への貢献、総合的な医療・福祉サービスの提供に積極的に取り組んでいます。生活困窮者問題シンポジウムは、「済生会生活困窮者支援総合事業」の一つで、年1回全国の済生会で開催し、地域における生活困窮者支援に携わっている団体・個人の方々に参加いただいています。

本日は、コロナ禍で、さらに深刻な社会的孤立と貧困について、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

## 岡山県済生会の地域支援活動

岡山県済生会では、生活困窮者に対する無料低額診療事業をはじめ、瀬戸内海巡回診療船「済生丸」による離島検診やへき地医療検診、無医地区への医師派遣、ホームレス、刑余者に対する健診など医療が十分に受けられない地域、人達への診療活動を行っている。また福祉分野では養護施設の経営や地域のコミュニティーカフェの運営、交通空白地域の生活バスの運行など住民福祉向上のための地域づくり活動を行っている。

こうした活動をご紹介させていただき、生活困窮者に対する新たな支援の在り方について考えていきたい。

## 基調講演 [オンライン講演]



### 8050 問題 ～豊中市社会福祉協議会の実践から～

豊中市社会福祉協議会福祉推進室長

**勝部 麗子 氏**

入職以来、地域組織化活動や地域福祉計画、活動計画に携わる。平成 16 年度から大阪府の地域福祉支援計画のコミュニティソーシャルワーカー配置事業の一期生となり、様々な制度の狭間を解決するプロジェクトを立ち上げる。厚生労働省社会保障審議会の「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」に委員として参加。2014 年 4 月から放映の NHK ドラマ 10「サイレントブア」のモデルとなり、同ドラマの監修を務めた。著書に「ひとりぼっちをつくらない～コミュニティソーシャルワーカーの仕事～」(全国社会福祉協議館出版)

## コーディネーター

新見公立大学健康科学部教授

**山本 浩史 氏**

博士(文化科学)、社会福祉士、防災士。大学卒業後、岡山済生会総合病院に入職、岡山済生会ライフケアセンター勤務の後、川崎医療福祉大学医療福祉学部講師、准教授、岡山県立大学保健福祉学部准教授、新見公立短期大学地域福祉学科教授を経て現在に至る。岡山県真庭市地域福祉計画策定委員長、新見市地域福祉計画策定副委員長等を勤め、現在、中山間地域の福祉、災害福祉、民生委員制度の原点である岡山県済世顧問制度の研究を行っている。著書には共著『慈愛と福祉 岡山の先駆者たち 1』、『ボランティアのすすめ』等があり、今年度、共著『日米欧の社会福祉づくりと渋沢栄一』を発刊予定。この中で「渋沢栄一と恩賜財団済生会」を執筆している。

## シンポジスト

### 岡山県精神保健福祉センターからみた社会的孤立と貧困の問題

岡山県精神保健福祉センター所長 **野口 正行 氏**

精神科医。病院経験の後、平成 21 年より岡山県精神保健福祉センターにて訪問活動に従事。未治療や治療中断、ひきこもりなどの方への訪問活動を多職種チームにて行っている。こうした人たちは近隣からの孤立、経済的な課題などの課題が複合しており、多職種多機関ネットワークによる支援が必要であると考えている。

### 岡山市寄り添いサポートセンターの取り組み

岡山市社会福祉協議会

寄り添いサポート担当室長 **松原 智一 氏**

大学を卒業後、岡山市社会福祉協議会に入職。地域福祉活動、ボランティアセンター、日常生活自立支援事業専門員、岡山市支え合い推進員(第1層生活支援コーディネーター)等を担当。平成 31 年 4 月から、岡山市寄り添いサポートセンター(生活困窮者自立相談支援事業)及び生活福祉資金の担当に従事。

### 8050 問題と孤立 ～ホームレス者への支援から考える孤立の課題～

NPO 法人岡山・ホームレス支援ぎざな理事 **新名 雅樹 氏**

1995 年、社会福祉士を取得。岡山県南の社会福祉法人に入職し、特養や在宅高齢者支援事業の相談員として勤務を開始。2007 年、大学院修了を機に新名社会福祉士事務所を立ち上げ独立。独立後、岡山市内での炊き出し等のホームレス支援のボランティアも開始する。その後、法人後見業務や、弁護士法人事務所でのソーシャルワーカー業務にも従事。2016 年より NPO 法人岡山・ホームレス支援ぎざなにて、野宿生活者や刑余者の支援、生活困窮者自立支援法に基づく一時生活支援事業の支援相談員を行う。